

第11回 全国被災地語り部シンポジウムin東北 2026

～ 15年の歳月は私たちに何を教えてくれたのか～

定員
300名

参加
無料

令和8年 3月1日(日)
・3月2日(月)

会場／南三陸ホテル観洋 (宮城県本吉郡南三陸町志津川字黒崎99-17) TEL.0226-46-2442

および南三陸町内・気仙沼市内・石巻市内



今年、東日本大震災から15年目を迎えます。変化の激しい時代の中、年を追うごとに震災の風化は進んでいます。

それでも語り続ける人がいます。語り始めた人がいます。

語り続けることで、私たちは人に何かを伝えることの重要性を知りました。語り始めたことで、新しい繋がりができ、人の温かさを知りました。

ひとりでも多くの方に知っていただき、生きて欲しい。その願いは時間が経ち、世代が移り行く中でも変わることはありません。

どうすれば未来の大切な命が守られるのでしょうか?

「命を守るための語り部」として語り続けるために、そして次世代へ語り継いでいくために必要なものは何でしょうか?

15年という節目、東北のこの地で、私たちのこれまでの歩みと、皆様のこれからへの未来について共有します。

多様な価値観が集う場に、地域と世代を超えた多くの方が集う事を願います。



第3回ジャパン・ツーリズム
アワード大賞受賞

『震災を風化させないための
語り部バス』による
地域活性化への取り組み



【プログラム】

■2月28日(土) 特別イベント／【シルクロード～人と文化を結ぶ道～】水墨画ライブペインティング&モンゴル四弦琴の演奏

■3月1日(日)

【エクスカーションプログラム】

▶震災を風化させないための語り部バス 10:30～12:00

【第1部】▶開場 12:50～

▶オープニング「相撲甚句」 13:00～13:15

▶開会式 13:15～13:30

▶導入ムービー 13:30～13:45

【第2部】▶パネルディスカッション 13:50～15:00

【第3部】▶分科会 15:10～16:30

①「過去の災害を知り、命を守る」～体験と歴史から、学び伝えるべきものとは～

②「語り部からKATARIBEへ」～災害時に問われる多様性の理解～

③「あの時、私は」～三陸で語り始めた人たち～

【第4部】▶若者語り継ぎセッション 16:40～17:40

【第5部】▶語り部宣言 17:45～18:00

【懇親会】18:30～20:00 【国際セッション】20:15～21:30

3/1(日) 無料シャトルバス【特別便】運行 予約制

往【仙台駅】10:30発→【南三陸ホテル観洋】12:00着

復【南三陸ホテル観洋】18:15発→【仙台駅】19:45着

※プログラムの詳細・参加お申込み方法は裏面をご覧ください

南三陸ホテル観洋ホームページ URL▶<https://www.mkanyo.jp>
シンポジウムの詳細を随時UPいたしますのでご覧ください。

■主催:全国被災地語り部シンポジウムin東北実行委員会

(南三陸町地域観光復興協議会・北淡震災記念公園・北淡震災記念公園震災の語りヘボランティア
・Kataribe World Network・多文化と共生社会を育むワークショップ・エフエムわいわい)

■共 催:(株)阿部長商店 南三陸ホテル観洋

■特別協力: (株)ほくだん 南三陸ホテル観洋協力会 (一社)東北みらい推進機構

■協 力: (有)スガワラ電化

■後 援: 宮城県 南三陸町 南三陸町教育委員会 気仙沼市 気仙沼市教育委員会 三陸新報社 河北新報社 日本経済新聞社仙台支局 朝日新聞仙台総局
毎日新聞仙台支局 NHK仙台放送局 tbc東北放送 仙台放送 ミヤギテレビ khb東日本放送 ラヂオ気仙沼 H@FM (一財)3.11伝承ロード推進機構
大川伝承の会 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館 リアス・アーク美術館 石巻市震災遺構門脇小学校 海の見える命の森実行委員会

WEBからも簡単にお申込みいただけます。

お問合せ・お申込みは…

実行委員会事務局(南三陸ホテル観洋内)

TEL:0226-46-2442 FAX:0226-46-6200
minamisanriku_somu@kanyo.co.jp



【プログラム】

※各部ごとにご希望のプログラムにご参加いただけます。

2月28日(土)

特別イベント

【シルクロード～人と文化を結ぶ道～】

李焱 水墨画ライブペインティング & 蒙古貞夫 モンゴル四弦琴の演奏

南三陸ホテル観洋 5Fロビー

3月1日(日)

エクスカーションプログラム

震災を風化させないための語り部バス

10:30 【高野会館特別コース】

【南三陸ホテル観洋→戸倉小学校→戸倉公民館→高野会館→防災対策庁舎周辺→南三陸ホテル観洋】

第1部

13:00

▶オープニング 相撲甚句「兄よ」

13:15

・釜石あの日あの時甚句つたえ隊／藤原マチ子氏 北村弘子氏

第2部

13:15

▶開会式

・実行委員長挨拶／阿部 隆二郎
((株)阿部長商店 南三陸ホテル観洋 代表取締役副社長)

13:30

・来賓挨拶／吉田 昭二氏 (東北運輸局長)

13:30

▶導入ムービー

13:45

「語り部の始まり」～それぞれの15年～

第3部

▶メインディスカッション

テーマ「これまでの15年、これから15年」

コーディネーター

山内 宏泰氏 (リアス・アーク美術館館長・学芸員) 宮城県

13:50

パネリスト

釘子 明氏 (陸前高田語り部くぎこ屋代表) 岩手県

佐藤 敏郎氏 ((一社)スマートサプライビジョン理事) 宮城県

青木 淑子氏 (富岡町3.11を語る会代表) 福島県

15:00

コメントーター

宮本 肇氏 (元淡路市総務部長) 兵庫県

第3部

▶分科会

①「過去の災害を知り、命を守る」～体験と歴史から学び、伝えるべきものとは～
コーディネーター／後藤 一磨氏 (南三陸町文化財保護委員) 宮城県
パネリスト／野村 勝氏 (人と防災未来センター語り部) 兵庫県
崎山 光一氏 (前稻むらの火の館館長) 和歌山県
三輪 一雄氏 (歌手) 石川県
宮川 ルミ氏 (福話会代表) 宮城県

15:10

②「語り部からKATARIBEへ」～災害時に問われる多様性の理解～
コーディネーター／北村 美和子氏 (東北大大学スタートアップ事業化センター特任准教授)
パネリスト／リチャード・ハルバーシュタット氏 (石巻市震災遺構門脇小学校校長)
大城 ロクナ氏 (ひょうごラテンコミュニティ代表)
周 智堯氏 (台湾静宜大学生)
コメンテーター／金 千秋氏 (FMわいわい代表理事)

16:30

③「あの時、私は」～三陸で語り始めた人たち～
インタビュー／小林 裕氏 ((一社)東北みらい推進機構副理事長) 宮城県
トーク／「屋上か、五十鈴神社か～親の教え～」齊藤 早苗氏 (戸倉小学校 元教諭)
「使命～消防士として、父親として～」及川 淳之助氏 (気仙沼東日本大震災遺構・伝承館館長)
「残しきる意味～受け継がれる思い～」米沢 祐一氏 (米沢商会代表取締役) 岩手県

第4部

▶若者語り継ぎセッション

16:40

同伴コーディネーター／ユリア・ゲルスタ氏 (東北大大学災害科学国際研究所 准教授)

17:40

山地 久美子氏 (神戸大学地域連携推進本部 特命准教授)

パネリスト／後藤 優太氏 (東北大大学SCRUM)

中村 海翔氏 (東北学院大学生)

野々内 日向氏 (神戸大学ボランティアバスプロジェクト)

范 兔禎氏 (台湾静宜大学生)

辻元 慎 (南三陸ホテル観洋営業次長)

第5部

17:45

▶語り部宣言

18:00

米山 正幸氏 (北淡震災記念公園総支配人)

懇親会

18:30 ~ 20:00

※会費4000円(当日精算)

国際セッション

20:15 ~ 21:30

Japan's memory of difficult pasts in international perspective

「日本の困難な記憶と記録を国際的な視点から考える」

3月2日(月)

サテライトセッション

8:30 ~ 9:20

「“避難所運営の記憶”と“被災地における教育の記録”」～語り継がるべきこと～

スピーカー／河原 正樹氏 (南三陸町立志津川小学校校長)、山内 松吾氏 (KATARIBE World Network事務局長)

A.気仙沼での日を追体験するコース

【9:30】南三陸ホテル観洋→【10:10】海の市「佐藤誠悦氏による語り部」→【12:00】小泉海岸→【12:30】南三陸ホテル観洋帰着

B.石巻を感じ、学ぶコース

※昼食代・入館料は自己負担

エクスカーションプログラム

語り部バス オプションツアー(無料)

エクスカーションプログラム

語り部バス オプションツアー(無料)

申込期限／2月23日まで

※会場準備の都合により、事前の参加お申込みにご協力ください。
(会場が定員になり次第締め切りとなります)



(ふりがな) 氏名	3月1日(日) 参加希望 参加される□内に✓を入れてください	エクスカーション プログラム	<input type="checkbox"/> 震災を風化させないための語り部バス
所属等		第1部	<input type="checkbox"/> 参加する
携帯電話		第2部	<input type="checkbox"/> 参加する
住所		第3部 (1つ選択) →	①「過去の災害を知り、命を守る」 ②「語り部からKATARIBEへ」 ③「あの時、私は」
〒		第4部	<input type="checkbox"/> 参加する
	懇親会	<input type="checkbox"/> 参加する ※会費4,000円(当日精算)	
	サテライトセッション	<input type="checkbox"/> 参加する	
	エクスカーション プログラム (1つ選択) →	A.気仙沼での日を追体験するコース B.石巻を感じ、学ぶコース	
	シャトルバス 特別便 (1日(日)のみ)	【往路】仙台駅(10:30出発)→南三陸 <input type="checkbox"/> 利用する 【復路】南三陸(18:15出発)→仙台駅 <input type="checkbox"/> 利用する	

※必要事項は全てご記入ください。※グループ・団体でご参加の皆さまもお一人ずつお申し込みください。※プログラムは変更になる場合がございます。